

保護者等からの事業所評価の集計結果(公)

公表:令和6年3月31日

事業所名 市立ひらかた子ども発達支援センター 保護者等数(児童数) 102 回収数 43 割合 42%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	38	5	0	0	子供が落ち着けるスペースがあればいい。また、昼寝してる子供の横で静かに遊ばないといけないときがある。	本センターでは、集団生活に適応できるよう、発達や障害に応じた専門的な療育を提供しています。集団生活の中で様々な場面がございますが、子どもの特性に応じて、適切な対応を行っていきたくと考えています。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	32	8	2	1	親としては、子どもの発達を促すことを一番の目的として療育に通っているため、毎回セラピーが受けられるように、セラピストを増やしてほしい。	セラピーについては、回数ではなく医師の診察、子どもの状況に合わせて実施する必要があると考えていますので、引き続き、専門スタッフの適切な人員配置に努めていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	39	3	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	39	3	1	0	職員が上履きを履いておられたり、バギーが通ったりしている廊下を子どもや保護者は靴下で歩くので、どこが清潔でどこが不潔か線引きできているのか。	保育室、トイレ、廊下など子どもや保護者が利用される部分については、開所日の保育・療育の開始時間まで専門業者による清掃を行っています。また、バギーについては、タイヤの汚れを拭き取り、消毒したうえでセンター内で使用をいただいています。引き続き、清潔で心地よく過ごしていただける環境となるよう努めていきます。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	39	4	0	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	35	5	0	3		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	41	2	0	0		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	38	4	0	1		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	25	7	5	6	去年から少しずつ保育園などに遊びに行かせてもらう機会を作ってもらえたので良かったです。 交流はあるが回数は少ない。また、感染症の流行時期に重なり交流できないことが多い。	保育所との交流は、同年代の子ども同士関わりの中から、豊かな人間性を育むとともに、お互いの大切さを尊重し合う大切さを学ぶ機会であると考えています。保育所での集団生活での様子を知っていただくうえでも重要と考えていますので、今後も計画的に実施していきます。
10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	37	5	0	1	「障害」「障害児」という言葉を目にするだけでも一瞬胸が苦しくなります。公共の文書なら致し方ないですが、支援センター内の文書だけでも平仮名にする等の配慮をして頂きたいです。	枚方市においては、「障害」の表記は漢字表記とすることされており、本センターの作成する文書も漢字表記としているところですが、表記に関して、そのようなご意見があることにつきましては、しっかりと受け止め、お気持ちに寄り添って今後の保育・療育を行ってまいります。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	40	2	0	1		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	33	5	1	4	改めてそのような場は設けられていないと思う。	本センターでは、保護者支援として、希望者には支援を要する子どもの相談や、保護者支援の経験が豊富な小児科医師に療育相談を受けていただくことができます。毎年4月にすぎの木、なのはなの全保護者に日程をお知らせしますので、子どもの発達特性や気になる行動への対応の仕方、病院受診の時期、就学に伴う進路、家族の悩みなど気になることがある場合はご利用ください。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	41	1	1	0	話を聞いて下さる姿勢がとても心地よく話しやすい。親身になって相談に乗ってくれている。	引き続き、保護者の皆さまとの共通理解のもと、保育・療育を実施していきけるよう努めていきます。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	40	1	1	1		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	37	4	0	2		
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	31	9	0	3	クラスの先生にお話した事をセラピシーの先生方もミーティング等で共有して下さっているのがわかるのでとても信頼できる。こちらが先に気付いてお願いする事が多いので、先生達が先に気付いてこちらに提案、または助言など頂きたい。	引き続き、保育士、看護師、セラピストなど子どもに関わる職種間の情報共有を進めていきます。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	40	2	0	1	保育参加時に保護者にも子どもにもよく話してくれるのでありがたいです。子どもが帰る時間の前や直前でぐずっていた場合でも、すぐに連絡をいただけるのでお迎え時に対応できてとても助かっている。	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	34	6	0	3		
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	37	2	0	4		
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	33	4	2	4	緊急事訓練で送迎訓練をして欲しい。オンラインじゃなく、停電等を想定したアナログの子どもと引き渡し訓練を取り入れて欲しい。	災害など緊急時の約束事や行動の仕方について子どもの理解を進めるためには、日常の保育・療育や訓練での継続的な取り組みが重要であると考えています。これらの取り組みに加え、令和6年3月には、新たな訓練としてAED・心肺蘇生法の訓練を実施しました。今後につきましても、センターの安全計画に基づき安全対策の充実を図ってまいります。
						療育施設なのにクラス単位やバスでの感染症のお知らせがなされないのが疑問です。	社会福祉施設等における感染症については、国の通知により、同一の感染症又はそれらを疑われる者が、10名以上また全利用者の半数以上発生した場合は関係機関に報告することとされており、本センターもそれに沿って対応してまいります。また、同一感染症による増加傾向が顕著に認められる場合は、必要に応じ注意喚起を行ってまいります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	21	非常災害の発生に備え、定期的 に避難、救出、その他必要な訓練 が行われている	37	2	0	4		
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしている	37	5	0	1	行ける日は今か今かと家を出るま でソワソワするほど楽しみにして いる。寂しい気持ちはあると本人 から聞いていますが、やはり楽し いのか、よく帰りたくないとも言う。	子どもたちが楽しく過ごせる場所 となるよう努めてまいります。
	23	事業所の支援に満足している	37	5	0	1	いつも本当にお世話になって います。ありがとうございます。	
	24	(なのはな通所児で介護タクシー もしくはタクシーを利用されてる保 護者にお伺いします) 通所にかかる身体的な負担が軽 減されているか	8	1	0	0	遠回りで帰るのは辛いです。せめ て、方面は絞って相乗りにして欲 しい。反対方向から帰るのは乗る 時間も長く子供もじっとしていない し通常より疲れて帰って直ぐに兄 弟児が帰ってくるのは身体的、精 神的に辛い。	タクシーでの送迎については、本 市独自の取り組みとして実施して おり、タクシーの安定的な台数の 確保等に課題があることから、原 則として相乗りをお願いしていま す。 相乗りについては、センターを起 点として三方面にエリア分けし、自 宅からセンターまでは午前10時ま でに到着できる組み合わせを、セ ンターから自宅までは、相乗りなし で乗車した場合に比べ、乗車時間 の超過が概ね10分以内となるよう 組み合わせを行っています。 交通渋滞等で関係で乗車時間が 想定より長くなることもありご迷惑 もおかけすることもあります。タ クシー送迎は、自主で通所が困難 な児童・保護者の重要な通所手 段であり、センターとしては運用を 適切に行い制度を維持していき たいと考えていますので引き続きご 協力をお願いします。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。